



(1/3)  
20240722 評基認第002号  
2024年12月4日

## 認定証

独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センターは、以下の適合性評価機関を ASNITE 認定プログラムの試験事業者として認定する。

認定識別: ASNITE 0104 Testing

適合性評価機関の名称: 株式会社産業分析センター  
草加試験所、松山試験所及び西日本試験所

法人の名称: 株式会社産業分析センター

適合性評価機関の所在地: (草加試験所)  
埼玉県草加市谷塚二丁目11番7号  
(松山試験所)  
栃木県真岡市松山町1番地  
(西日本試験所)  
兵庫県多可郡多可町中区坂本字土井畑101-1

認定範囲: 別紙のとおり

認定要求事項: ISO/IEC 17025:2017

認定スキーム文書 (ASNITE-T (E)) に  
記載した認定要求事項

認定発効日: 2024年4月24日

認定の有効期限: 2028年4月23日

初回認定発効日: 2013年12月20日

独立行政法人製品評価技術基盤機構

認定センター所長 堀坂和秀

- IAJapan(独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センター)は、ILAC(国際試験所認定協力機構)及び APAC(アジア太平洋認定協力機構)のMRA(相互承認取決め)に署名している認定機関です。
- 相互承認取決めに係る要求事項は、認定の基準(該当する国際規格)適合義務の他に、技能試験参加要件及び定期的な審査の受審並びにMRA対応事業者に対するトレーサビリティ要求事項(方針)を指します。
- この事業者はISO/IEC 17025:2017 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項に適合しています。この認定は当該事業者が認定された範囲において一貫して技術的に有効な試験結果及び校正を提供するために必要な技術能力要求事項及びマネジメントシステム要求事項を満たしていることを証明するものです(2017年4月 ISO-ILAC-IAF 共同コミュニケ参照)。
- IAJapan ウェブサイトで公開している認定証が最新の認定情報です。

事業所名：株式会社産業分析センター草加試験所

事業所所在地：埼玉県草加市谷塚二丁目11番7号

実施する業務：マネジメントシステム運用、試験業務、結果の報告

試験所の初回認定発効日：2013年12月20日

認定区分			試験項目／試験対象	試験規格番号	認定発効日
カテゴリー	サブカテゴリー	試験技術			
化学製品	成形品・部材	紫外・可視吸光光度分析法	Cr (VI) / 金属材料	IEC 62321-7-1:2015	2024年 4月24日
			Cr (VI) / ポリマー、電子機器	IEC 62321-7-2:2017	2024年 4月24日
		ICP/MS(誘導結合プラズマ質量分析法)	Cr、Cd、Hg、Pb / 高分子材料、金属材料、電気電子部品	IEC 62321-4:2017 IEC 62321-5:2013	2024年 4月24日
		IC (イオンクロマトグラフィー)	Cl、Br / 樹脂・ゴム関連製品*1	BS EN 14582:2016*2	2024年 4月24日
			F、Cl、Br / 高分子材料、電子部品	IEC 62321-3-2:2020	2024年 4月24日
			I / 高分子材料、電子部品	IEC 62321-3-2:2020 附属書D	2024年 4月24日
			F、Cl、Br、I / はんだ付け材料	JEITA ET 7304A 附属書B 2010	2024年 4月24日
		GC/MS (ガスクロマトグラフィー質量分析法)	PBB、PBDE / 高分子材料、電子部品	IEC 62321-6:2015	2024年 4月24日
			フタル酸エステル類 (DEHP、BBP、DBP、DIBP)*3 / 高分子材料、電子部品	IEC 62321-8:2017*4	2024年 4月24日
		高分子	LC/MS (液体クロマトグラフィー質量分析法)	PFHxS、PFOS、PFHxA、PFOA、PFNA、PFDA、PFUnDA、PFDoDA、PFTTrDA、PFTDA*5 / 高分子材料	DIN CEN/TS 15968; DIN SPEC 1038:2010-11 EN 17681-1:2022

\*1 ハロゲン化合物 (Cl、Br) を含有する樹脂・ゴム関連製品であって、自動燃焼装置 (石英管燃焼法) の焼却処理によってもガス化しない成分を含有しないもの。

\*2 BS EN 14582 規格の酸素ボンベ法の焼却前処理手順に代えて、自動燃焼装置を使用する。

\*3 DEHP：フタル酸ジ (2-エチルヘキシル)、BBP：フタル酸ブチルベンジル、DBP：フタル酸ジブチル、DIBP：フタル酸ジイソブチル

\*4 熱分解装置/加熱脱着装置 (Py/TD-GC-MS) は、除く。

\*5 PFHxS：ペルフルオロヘキサンスルホン酸、PFOS：ペルフルオロオクタンスルホン酸、PFHxA：ペルフルオロヘキサン酸、PFOA：ペルフルオロオクタン酸、PFNA：ペルフルオロノナン酸、PFDA：ペルフルオロデカン酸、PFUnDA：ペルフルオロウンデカン酸、PFDoDA：ペルフルオロドデカン酸、PFTTrDA：ペルフルオロテトラデカン酸、PFTDA：ペルフルオロテトラデカン酸

事業所名：株式会社産業分析センター松山試験所

事業所所在地：栃木県真岡市松山町1番地

実施する業務：マネジメントシステム運用、試験業務、結果の報告

試験所の初回認定発効日：2013年12月20日

認定区分			試験項目／試験対象	試験規格番号	認定発効日
カテゴリー	サブカテゴリー	試験技術			
化学製品	金属	発光分光分析法(ICP/AESを除く)	Al、Fe、Ni、Cu、Zn、 Ge、As、Ag、Cd、In、 Sn、Sb、Au、Pb、Bi/ はんだ	JIS Z 3910 14 *1	2024年 4月24日
		ICP/AES(誘導結合プラズマ発光分光分析法)	Al、Fe、Ni、Cu、Zn、 Ge、As、Ag、Cd、In、 Sb、Au、Pb、Bi/ はんだ	JIS Z 3910 13 *2	2024年 4月24日
		ICP/MS(誘導結合プラズマ質量分析法)	Al、Fe、Ni、Cu、Zn、 Ge、As、Ag、Cd、In、 Sb、Au、Pb、Bi/ はんだ	JIS Z 3910 13 *3	2024年 4月24日
		容量分析(滴定法)	Ag/ はんだ	JIS Z 3910 9 *4	2024年 4月24日

\*1 JIS Z 3910 14. スパーク放電発光分光分析法に用いる検量線用試料中の成分測定方法は ICP 分析法を用いるが、その測定手順が JIS の方法と異なる。

\*2 JIS Z 3910 13. JIS の王水の溶解液に代えて、塩酸と硝酸の混合比が異なる溶液を使用する。

\*3 JIS Z 3910 13. JIS の ICP/AES に代えて、分析機器に ICP/MS、ICP/MS/MS を使用する。

\*4 JIS Z 3910 9. JIS のチオシアン酸カリウム滴定法に代えて、電位差滴定法を使用する。

事業所名：株式会社産業分析センター西日本試験所

事業所所在地：兵庫県多可郡多可町中区坂本字土井畑 101-1

実施する業務：マネジメントシステム運用、試験業務

試験所の初回認定発効日：2024年4月24日

認定区分			試験項目／試験対象	試験規格番号	認定発効日
カテゴリー	サブカテゴリー	試験技術			
化学製品	金属	発光分光分析法 (ICP/AES を 除く)	Al、Fe、Ni、Cu、Zn、 Ge、As、Ag、Cd、In、 Sn、Sb、Au、Pb、Bi/ はんだ	JIS Z 3910 14 *1	2024年 4月24日

\*1 JIS Z 3910 14. スパーク放電発光分光分析法に用いる検量線用試料中の成分測定方法は ICP 分析法を用いるが、その測定手順が JIS の方法と異なる。

(以上)